

令和5年9月11日（月）

文化祭 挨拶

佐賀県立武雄高等学校長 下村昌弘

全校の皆さん、おはようございます。身体の調子はいかがでしょう。

一昨日の体育祭、本当にお疲れさまでした。皆さんの素晴らしいパフォーマンスに感激しました。短期間の準備期間であるにもかかわらず、高い集中力と完成度の高さ、何よりも一体感とみなさんのエネルギーを感じました。本当にありがとう。

さて、本日は趣向を変えて文化祭です。

ところで、そもそも「文化」とは何でしょうか。簡単に定義することが難しい概念ですが、私なりに考えてみました。

「文化」とは「その組織や集団が持っている特有の空気」と言えるのではないのでしょうか。武雄高校には武雄高校の文化が、皆さんの出身中学校にはその中学校の文化があり、それは武雄高校とちょっと違った空気だったと思います。

「文化」というものが直接的には言葉には言い表しにくい、目に見えないものがあるわけは、「文化」が「その組織や集団が何を大事にしているか」、「どういう価値観をもっているか」を色濃く反映しているからだと思います。

そして、もともと「文化」を意味する英単語は「カルチャー」ですが、その語源を皆さんもご存じでしょう。「カルチャー」には「耕す、洗練させる」という意味があります。

つまり「文化」とは「心をカルチベートすること」「カルチベートしながら常に新しいものに更新されていくべきもの」と言えるのではないのでしょうか。

さて、これから、それぞれ文化祭活動を皮切りに、各クラスのパフォーマンスや催し物、展示がなされます。

そこに所属する一人一人が、あるいはそれぞれの部活やクラスが大切にしてきたものを存分にアウトプットし、見る側はそれをしっかりと享受し、味わい、楽しみましょう。

最後になりますが、残念ながらインフルエンザ、新型コロナへの罹患で本日参加できない仲間がいます。その人たちの思いも引き受けつつ、また感染症への高い意識を持ちながら今日一日楽しい文化祭にしましょう。